

専門医から学ぶ

ギャンブルを 止めつつづけるために



講師：吉田精次（藍里病院依存症研究所所長）

依存症専門医。2005年よりギャンブル依存症の治療を開始。ここ数年の相談数は年間50件以上あり、のべ相談件数は300件を超える。ギャンブル依存症の自助グループであるGA（ギャンブラーズ・アノニマス）の活動支援を続けている。依存症問題で苦しむ家族に対する強力な支援プログラムであるCRAFTを全国に広める活動を行っている。

第1部：13:30～15:00 「ギャンブル依存症について」

繰り返される深刻な借金問題、仕事や学業の問題、ウソやごまかしなどがからむ言動の異変なので背景にギャンブル問題が隠れていることがあります。その場合、借金問題を解決するだけでは決して終わりません。わかっていてなぜ繰り返すのかと本人の人格や意志の問題にするだけでは解決にはつながりません。問題の根本的な原因を見つければ、的確な対策が可能です。ギャンブル依存症という病気があることを知り、学びましょう。以下の内容について説明します。

- 依存症は脳の病気
- ギャンブル依存症の症状
- 症例
- どんなふうに依存していくのか
- 診断基準

第2部：15:15～16:40 「どうやって止めるか？」

ギャンブルに依存している場合、どのようにしてギャンブルを止めていけばいいのかが最も重要な課題です。具体的な方法や考え方について学びましょう。止め始めるため、止め続けるためには方法があります。困っている家族には効果的な対処法を提案します。以下の内容について説明します。

- 根本的な問題は何かをつかむ
- 金銭管理が決め手
- 再発予防
- 相談相手を間違わない
- 脳の回復を促進する

質疑応答：16:40～17:00

開催日時 平成29年8月5日(土) 13:30～17:00

開催場所 藍里病院 依存症研究所 研修ホール

参加対象 一般の方(自由参加・無料)
※事前の予約は不要です。

問合せ先 藍里病院 TEL088-694-5151(佐藤・坂東)

